

～おもな内容～

1. 昭和48年度一般会計決算状況 (P 2)
2. 児童手当が4,000円に (P 3)
3. 商工会事務所オープン (P 3)
4. 予防接種加茂病院と協定 (P 3)
5. 体協活動めぐり (P 4)



＝見直そうくらしのムダを＝



わたしたちの生活の中での不必要商品

- ①自動食器洗い ②香水入り消しゴム ③附属品の多い学童机 ④子供用化粧品 ⑤匂い、色、花が入りちり紙 ⑥食器乾燥機 ⑦ポルノ雑誌 ⑧リモコン付きテレビ ⑨横造玩具(ピストル等) ⑩電気ゆで玉子器 以上ベスト10

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| ①飾りの多い子供服 | ⑫セントラルヒーティング | ⑭ティッシュペーパー |
| ②冷水器付冷凍冷蔵庫 | ⑬野菜のバック | ⑮インスタント食品 |
| ③ロベに型糊 | ⑭スポンプレッサー | ⑯プラスチックの台所用品 |
| ④全自動洗濯機 | ⑮計量米びつ | ⑰スチームアイロン |
| ⑤歯ぶらしケース | ⑯週刊誌 | ⑱ジュウサー |
| ⑥電気鉛筆けづり | ⑰電気毛布 | ⑲化学調味料 |
| ⑦パーマータオル | ⑱化粧用カッター | ⑳ランドセル |
| ⑧子供雑誌の付録 | ㉑風呂用の洗剤 | ㉒台所用中性洗剤 |
| ⑨電子ライター | ㉒カーラー | ㉓ミキサー |
| ⑩電子レンジ | ㉓ホット・カラー | ㉔オーブ |
| ⑪化学雑巾 | ㉔電子ジャー | ㉕ガス湯わかし器 |
| ⑫自家用車 | | ㉖ポリ袋 |
| ⑬入浴剤 | | ㉗掃除機 |
| ⑭エア・ポット | | |

これが不必要品

全国の1万2千人が指摘

昨春秋の石油ショックは、物不足とか物価高という異常な現象を引き起したのを契機に、私達の身の廻りやくらしを考え直す必要はないかと、商品の乱進、消費者の乱買を反省し、企業の社会的責任を消費者自身が追求しようとする動きが、一層高まってきています。さきほど神戸市消費者協会では神戸市のほか全国一万五千人に「不必要商品・万人消費者の訴え」をアンケートし七六%の回収率でその結果をまとめたものです。この調査結果について神戸市消費者協会専務理事舩尾美智子氏は次のように語っています。

私達が「くらしを見直す運動」の一つの行動としてこのアンケートをしたことについては、そこに現れた不必要品の順位などという結果だけをみようとしているのではない。生活の中のムダを見つけ、より充実した生活を目指すためには、節約とか、ムダをなくすとか、そんな抽象的なことをいっていたのでは、私達の意識の中では理解されても

それが生活行動の中になかなか具体化されない。むしろ具体的な不必要品を、数多い消費者の声の中から求めて指摘するところが、生活を見直すのではない。この結果の順位については、いろいろ意見もあるが、家族の話し合いの中で、時には職場の中で話し合い「くらしの見直し」、生活の中のムダに気づくかも知れない。そして私達が忘れていたものの価値性や、商品の選択権の重要性を思い出したであろう。見せかけの豊かさの中で、宣伝にせられてきびしい選択も判断もされないままに送っている私達のいまのくらしの反省のチャンスというものが、このアンケートの大きな意図である。

この意見をよくかんがえて不必要品を見たり、考えたりして各自で自分なりの商品を選びてみることもよいと思います。(消費者情報第26号より)



「病み呆けし母を
冷妻より食ふ」
(横越大江山親鸞
句集から)
年老いて病み呆
けてしまった母
だけしか関心がな
い老いた母に対する痛切な愛
情が感じられます。人生も終
りに近づく、長い間子どもを
育て家を守ることに苦労して
きた母が呆けてしまったら、た
くさを確かめられない。人間
のさだめとはいいながら切な
い子どもの愛情を感じさせら
れます。

今日は敬老の日を迎えて各地に敬老会が開催されることと思います。最近では老人に対する福祉対策が漸次充実されてきたように感じられてはいますが、年金も買われて孫に小遣いもやれるようになったし、高齢者を対象としたいろいろな催しも行われるようになってきました。先般高令者を対象とした意識調査の結果が発表されたところですが、経済生活面ではやゝ満足した結果であったようです。然しその中で年をとったら子どもと一緒に住みたいという希望が非常に強く出ていました。戦後旧来の家に対する考え方が変わり個人が主体になった制度になって子どもたちがそれぞれ独立して一家をなすようになったことが、ひとり暮らしする型が多くなりました。幸いとしたことは別として長い間続いた風習人情を変えていくことはなかなかかむずかしいことだと思えますし、どう調和させていくか考えなければならぬ点であると思えます。

福祉政策が拡充されて不自由な点をなくすと共に、老人の心算を尊重する周囲の人たちの配慮が必要なのではないでしょうか。最近の最高令者の方々は、過去の最高令者の方々が違っておられます。幸せな老後生活を続けられて長寿を全うされるようお祈りする次第です。